広報 南国

編集発行 南国市役所 電話(代表)451番 印刷所 安岡印刷所

広報は…………みんな読むもの…………つくるもの

野口議長と井上副議長 南国市組織議会終る

南国市臨時（組織）議会は二十四日開会（十二月十日閉会）組織までの間出席議員の最年長者、井上可澄議員が仮議長となつて運営。正、副議長選任は難航の末二十五日投票により野口幸重、井上満吉両議員に決定。

これにつき次の条件がつけられた。

一、議長は後免、野田、岡豊の四地区から、副議長は香長地区から選任する。

二、正、副議長の任期は一カ年とする。

三、次期の正、副議長は地域に関係しない。

なお開会第一に西村市長は「執行部と議会は車の両輪のようにやつていきたい」とあいさつ。野口議長も"誠意と和をモットーに努力する"と就任のあいさつをのべた。

常任委員は次のとおり。

総務常任委員会
◎土居熊治、〇川田鉄次、浜田善治、久米徳幸、野口幸重、井上可澄、橋本一三、松木二郎、

設建常任委員会
◎岡林茂喜、〇高木正延、吉村雅男、岩原隆雄、村上茂尚、溝渕亀吾、島内稲喜、井上満吉

産業経済常任委員会
◎山下熊太郎、〇中田清茂、永田良水、北岡博、吉川清司、北村広喜、橋田信夫

教育民生常任委員会
◎沢村武一、〇浜田勇、平田良広、福川藤茂、吉本豊、小川良水、徳永安雄

助役、収入役定 教育委員決

臨時議会では助役、収入役、教育委員ならびに監査委員も決定した。

助役＝小笠原豊鶴氏＝長岡郡大豊村出身、現高知県合併市町村育成本部次長、高知農卒、四十六才

収入役＝川添豊氏＝南国市篠原生れ、旧香長村助役高小卒、四十二才、

教育委員＝甲藤紀氏＝現市会暫定教委、陸大専科卒、社員、五十四才

岩村元治氏＝旧香長村教育長、小学校教員養成所卒、農業、五十七才

西村信久氏＝元岡豊村長、高知師範卒、七十五才

山崎俊龍氏＝旧後免町町議 金沢医大卒、四十四才

岡藤蔵氏＝前高知商高校長 文部省教員検定合格、五十七才

監査委員＝松木二郎氏＝議会選出、高知農卒、農業、三十九才

島井武義氏＝学識経験者、国府農協組合長、四十才

議席決まる

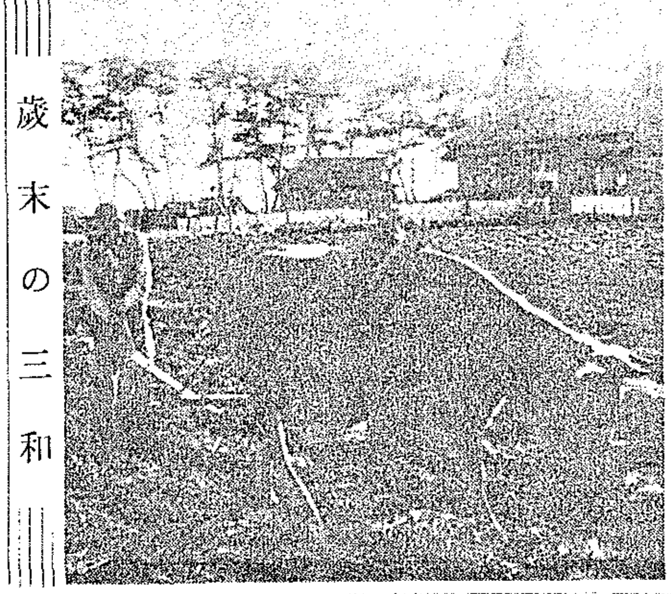
一―永田、二―北岡、三―山下、四―浜田（善）、五―吉村、六―橋田、七―高木、八―吉本、九―井上（可）、十―北村、十一―溝渕、十二―久米、十三―小川、十四―川田、十五―吉川、十六―島内、十七―福川、十八―岡林、十九―松木、二十―徳永、二十一―岩原、二十二―平田、二十三―浜田（勇）、二十四―村上、二十五―橋本、二十六―沢村、二十七―土居、二十八―中田、二十九―井上（満）三十―野口、

農業委員 選任 臨時出納検査立会人

南国市議会は二十八日議会側選出五農業委員を次のとおり決めた。吉川芳富（後免）西村一之（同）松岡幸寿（香長）神田晴重（同）、また同日臨時出納立会人も決まつた。井上可澄、久米徳幸

第一回産業祭 にぎわつた

南国市の第一回産業祭は十二、三両日、大篠小、中学校を主会場にして盛大に行われた。内容は農林産物、畜産品評会、園産物の太いものくらべ、シャコ品評会、観光写真展、農機具、電気製品の展示即売、生活工夫展、料理コンクール、防犯、衛生展、など会場いつぱいに繰りひろげられた。また無料健康相談や仮装大会、シャモ大会も人気があつた。



歳末の三和

選管委員

市選管委は、臨時議会で決定した。委員長＝西村勝、同代理＝広井幸喜、委員＝北村源治、森田良幸、補助員＝島崎仁徳、井戸晖、武市亮一、川田春

岩小学校組合組合議会議員

小川良水、坂東政治、塩井一（任期四年）

会長に金堂氏 市農委決まる

市の第一回農業委員選挙は十一月十七日行なわれ、定員三十人のところ、立候補三十一人の中に法定得票数に達しないものが二人あつたため、二十九人の委員で運営されることとなり、さる八日正、副会長を選任した。

（会　長）金堂久喜
（副会長）中沢浪治

当選委員次のとおり。

九六七、七一九票金堂久喜
五六五、一六三票浜田虎茂
五五六、二八〇票近藤武重
五〇三票　宮崎　一
五〇二、四一五票田村英実
四八九票　北村忠夫
四五七、〇四九票山本勇亀
四五五票　池知三男
四五二票　田島正実
四四五、九五〇票山木寿春
四二二票　沢村清春
四一九、八三六票浜田藤吉
四一九票　三宮　寛
四一六票　沢田義幸
四一三票　中沢芳寛
四一二票　窪田幸雄
四一一票　秦泉寺啓恵
四〇三票　依光義治
三九二票　松村　治
三七八票　田所亮一
三六二票　中田主計
三〇一、三五四票土居　基
三〇〇票　宮本正勝
二六六票　高村　勇
二五五票　島内三寿
二四六票　森尾　稔
一三五票　山島義賢
一二一、五八四票山崎秀美
一〇二票　戸田正美

予想以上の高額 市議の給料

市会議員の給料（報酬）は市民注目のマトであつたが十二日の臨時議会で次のとおり決定した。（月額）議長＝一万七千円、副議長＝一万四千円、常任委員長一万二千円、議員一万一千円行により月額合計二十七万円に近かいものが三十人の議員に支払われることとなつた。

市民A氏の話 この月額手当は思いのほか高いのでびつくりした。なにかといえば、高知市に次いで大きい市だというがそれは人口だけのこと。それも五分の一だ。まして財源は貧弱だから、もう少し低くしてもらいたかつた。とにかく、議員が職業化される傾向になるおそれがみえるようだ。

"南国"と改称

後免電報電話局（小島聴局長）は、南国市の発足にともない十二月一日から「南国電報電話局」と改称した。このため、後免〇〇番は南国〇〇番と呼ばれる。

議会事務局機構成る

市議会事務局の機構は二十八日、次のとおり決定した。職員は七人の予定。事務局長＝山本義幸 同 次長＝田岡信雄

努力水のアワ ふるわぬ知事選投票率

高知県知事選挙は十二月一日県下投票率平均五九・六六％を下廻る。五五・六九％の成績で終了した。市長、市議、農委選と矢つぎ早やに選挙が行われた後だけに、新生南国市民の県政に対する熱意の程を知るため各方面から注視されていた。市選挙管理委員会は棄権防止の啓発に部落公民館の放送施設を活用してもらうと同時に県選管と併行して宣伝カーを三日間市内全域に巡回させ、棄権防止のチラシを散布するなど全力を挙げたが次のような成績に終つた。

香長

投票区	男	女	計
1	61.59	52.21	56.58
2	57.05	57.38	57.22
3	54.64	56.12	55.63
4	54.76	58.23	56.59
5	60.13	62.47	61.42
6	64.54	67.13	65.96
7	71.56	70.11	70.78
8	80.21	86.73	83.73
9	53.07	51.87	50.98
10	57.96	58.19	58.18
11	51.70	48.49	50.00
12	70.07	56.65	62.81
13	52.74	51.21	51.95
14	63.60	76.50	69.74
15	66.32	55.50	60.81
19	59.38	62.30	60.93
17	46.08	54.98	51.08
18	52.68	52.60	52.64
19	61.86	63.55	62.75
20	54.58	52.10	53.26
21	66.94	56.64	61.36
計	58.53	57.74	58.11

後免

投票区	男	女	計
第1	61.98	63.64	62.93
2	61.81	60.17	60.93
3	70.93	62.60	66.53
4	57.78	55.28	56.42
5	36.00	33.88	34.89
6	42.55	34.85	38.40
7	42.89	36.84	39.62
8	55.16	49.13	51.95
9	50.11	44.06	46.95
10	48.00	45.49	46.71
11	60.08	56.83	58.38
12	70.97	78.95	74.79
13	73.68	64.41	68.97
14	81.13	70.97	75.65
15	86.07	91.45	88.70
16	65.26	56.00	60.51
17	54.09	41.61	47.81
計	53.82	49.84	51.71

投票区	男	女	計	投票区	男	女	計
岡豊1	52.15	54.11	53.19	野田1	88.88	87.91	88.34
2	53.20	47.28	50.15	2	69.89	75.86	73.20
3	52.24	51.65	51.91	3	68.29	75.00	72.56
計	52.51	51.05	51.74	計	76.21	79.57	78.11
岩1	66.67	59.25	62.50				
2	72.61	72.49	72.54				
計	66.51	65.61	67.42				

いつの選挙にも高い率を示す後免地区第十五投票区、香長地区第八投票区、野田地区の第一投票区は選挙民の真面目さと政治意識の高さを示された。市選管の話によると今回の選挙にかなり雑事を書いた達筆な投票ありおしまれている。

大臣賞など後免野田小へ

二十六年五月に組織された後免野田小学校の「仲よし子供銀行」は、このほど大蔵大臣、日本銀行総裁ならびに全国銀行協会連合会の三者から表彰された。この子供銀行は四国銀行後免支店を親銀行とし、児童百四十人が行員であるとともに預金者でもある。事務は児童が互選した五、六年生の役員（支店長、次長のほか受付十二人、預金四人、原簿四人）で運営され、毎月隔週に預金。現在預金総額は百三十八万円に達しほとんどが小使銭を節約してためたもの。

加藤産経課長急逝

南国市役所産業経済課長加藤綜雄氏は病気のため二日急逝。四日自宅でしめやかに葬儀を行つた。年四十五。西村市長は、市役所人事の格付け前であつたがとくに一日付けで加藤氏を産経課長に任命したもの。

封建性打破に 部落解放同盟 野中支部結成

野中地区では、封建性を打破して未解放部落問題を解決するため二十八日、西部公民館で「部落解放同盟野中支部」を結成、次の役員によつて強力な活動を続けることとなり、当局へ次の要求を行うことになつた。青年に安定した仕事を与える、授産事業を起し失業者をなくする。青少年に奨学資金を支給し教育の機会均等をはかる 無料健康診療所の設置、子供の遊び場と子供図書館の設置、職業補導所の設置、道路、下水道、公民館の整備、共同作業所の設立、市独自の失対事業の拡大強化。

支部長＝武田広実、副支部長＝池田盟記、山田利孝、書記長＝岡崎俊一、会計＝谷田豊春、監査大谷森、前田義秀

さながら牧場 南国市初の乳牛品評会

南国市酪農振興協議会主催の乳牛共進会は十一月二十七日、市産業祭行事の一つとして日章で行なわれた。参加乳牛は五十五頭にのぼり、一般に昨年よりすぐれていると、審査員一同がたたえていた。入選次のとおり。

〔第一部＝小牛〕①山本通夫②入交隆志、岡上芳久③山本健市郎、入交隆志、山岡忠儀④島内千鶴、島内要、吉良遊亀、山岡義以

〔第二部＝親牛〕①藤本良夫②西川栄虎、島村進博③島内房吉、島村春治、北村稔④浜田利雄、吉良賢治、西原清一郎、藤本米喜

（なお本月十二、三両日大篠小学校で行なわれた産業祭の各種入選者は一月号に掲載します）

写真は会場の一部

定例市議会

南国市の十二月定例議会は二十三日招集の予定。歳出入予算などが提案される。

二千万円融資

松山郵政局はこのほど、南国市に対する財政調整資金二千万円の融資を決定した。これは簡易生命保険の積立金から支出されるもの。

こだま

▽一九五九年もいよいよ年の瀬だ。思えばあわただしいこの一年であつた。数年来難航を続けた南国市の誕生。次いで市長、市議、農委選とこの一票が投じられて市政もようやく軌道に乗り始めてきた。▽このうえは市発展のため市民一丸となり"猪突"してもよかろう。たとえ国の方針によつてなしとげた合併ではあつても国、県へばかり依存せずに自主的建設を行なわなくてはなるまい。▽ここでクローズアップしてくるのは市民の過半数を占めるお百姓によつて組織された農業協同組合の"大同合併"だ。農協を母体とする農民の動きが新市発展の一つのポイントといえる。もとより統合にはいろいろ問題はある。しかしそれも"協同"というもののみかたとすれば、解決できる問題であり封建制が強いといわれてきたものが終戦後の農地改革という大きい試練を経験し、その封建のカラを脱し、その階層の民主化を実現するなど革新の炬火をふりかざすお百姓たちであつてみれば一本化された機構のもとに市の産業を飛躍させることは決定的とみてよいようだ。▽それを証明するのが北海道を今日のように開発させた産業組合であり、ブラジルのコチア産業組合だ。これらの組合が地場産業の開発に尽した功績は偉大といわれる。まして田園都市といわれる南国市だ。農民層のケツ起がなくて、その発展はおぼつかない。▽ところが見落せないことがある。それは師走風に動く評判問題がいまだ伝えられることだ。三歳になろうという子が土佐名物の台風よりもこわい。昔―名判官大岡越前守は、一人の子供の二人親を裁いたというが、大岡裁判の現代版は子供のために、どちらが先に手を放すことか？子供たちへのお年玉にしたいことだ。